

5, 10, 13, 14, 17, 21, 22, 23, 24, 29, 31, 32, 33, 38, 41, 45, 46, 50, 54, 57, 58, 60, 62, 65, 66の25項目であった。天井効果については、全ての項目において見られなかった。

観察者評定では、得点の範囲は、21, 46, 52, 60, 62の5項目では0~2点であり、それ以外の61項目では0~3点であった。項目ごとの平均値は0.17~1.69であり、全体的に低めであった。項目

ごとのSDは、0.43~0.98であった。床効果の見られた項目は、2, 4, 5, 9, 10, 13, 14, 17, 18, 19, 21, 22, 23, 24, 25, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 35, 36, 38, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 50, 51, 52, 53, 54, 57, 58, 59, 60, 62, 63, 64, 65, 66と46項目であった。天井効果については、全ての項目においてみられなかった。

Table 1 CAARS 自己評定 66 項目の基礎統計量

項目	Range	Mean	SD
SL01 活動的なことをするのが好きだ。	0-3	1.86	0.89
SL02 (たとえば、やることのリスト、鉛筆、本、道具など) 課題や活動に必要なものをなくす。	0-3	0.94	0.79
SL03 前もって計画を立てない。	0-3	1.34	0.88
SL04 うっかり口をすべらせてしまう。	0-3	1.09	0.78
SL05 (ギャンブルや多額の投資など) 進んで危険をおかす、または向こう見ずだ。	0-3	0.42	0.80
SL06 自分が嫌になる。	0-3	1.69	0.90
SL07 ものごとを最後までやり終えない。	0-3	1.13	0.77
SL08 いらいらしやすい。	0-3	1.38	0.86
SL09 シャベリすぎる。	0-3	1.32	0.91
SL10 まるで“エンジンで動かされるように”行動する。	0-3	0.72	0.78
SL11 (整理整頓ができない、忘れ物が多い、約束を忘れるなど) だらしない。	0-3	1.39	0.97
SL12 考えずにものを言う。	0-3	1.11	0.88
SL13 1つの場所に長時間いることが難しい。	0-3	0.62	0.80
SL14 余暇活動で(遊びに行ったりした際に) ついはめをはずして騒いだり乱暴になったりする。	0-3	0.64	0.79
SL15 自分に自信がない。	0-3	1.70	0.95
SL16 いくつものことを同時に進行できない。	0-3	1.38	0.92
SL17 じっとしているべきときでも、常に動いている。	0-3	0.72	0.80
SL18 ものごとを覚えておくことを忘れてしまう。	0-3	1.15	0.75
SL19 気が短いすぐにカッとなる。	0-3	0.91	0.82
SL20 飽きっぽい。	0-3	1.50	0.89

SL21	席を離れてはいけないときに離れる。	0-3	0.22	0.50
SL22	列に並んで待ったり，他の人と交代で何かをしったりするのが苦手だ。	0-3	0.60	0.79
SL23	今でもかんしゃくを起こす。	0-3	0.29	0.61
SL24	仕事中に何かに集中しているのが苦手だ。	0-3	0.64	0.69
SL25	ペースの速い，刺激的な活動を求める。	0-3	1.07	0.87
SL26	自分の能力に自信がないので，新しいことに挑戦するのを避ける。	0-3	1.18	0.89
SL27	じっと座っているときでも内心は落ち着かない。	0-3	0.89	0.81
SL28	集中しようとしているときに，何かが目に入ったり聞こえたりすると気がそれてしまう。	0-3	1.37	0.83
SL29	毎日の活動を忘れてしまう。	0-3	0.42	0.67
SL30	色々なことにとびついてすぐにやってみようとする。	0-3	1.11	0.84
SL31	静かで内省的な活動は嫌いだ。	0-3	0.83	0.86
SL32	仕事や作業に必要な物をなくす。	0-3	0.73	0.79
SL33	人の話を聞くのが苦手だ。	0-3	0.53	0.67
SL34	本来の能力を十分発揮できない。	0-3	1.17	0.72
SL35	人の話をさえぎる。	0-3	0.90	0.81
SL36	計画や仕事を途中で変える。	0-3	1.13	0.76
SL37	いつけん問題なく振る舞うが，内心では自信がない。	0-3	1.64	0.85
SL38	いつもあちこち動き回っている。	0-3	0.78	0.87
SL39	後で取り消したくなるようなことを言う。	0-3	1.44	0.93
SL40	はっきりした期限がないと，物事を最後まで終えられない。	0-3	1.51	0.99
SL41	手足をそわそわと動かし，またはいすの上でもじもじする。	0-3	0.70	0.80
SL42	(学業，仕事，またはその他の活動において)不注意な過ちをおかす，または綿密に注意することができない。	0-3	0.94	0.75
SL43	意図せずに，他の人が傷つくようなことを言う。	0-3	0.89	0.75
SL44	作業をなかなか始められない。	0-3	1.36	0.98
SL45	他の人のじゃまをする。	0-3	0.58	0.67
SL46	じっと座っているために大変な努力が必要だ。	0-3	0.36	0.61
SL47	気分が変わりやすい。	0-3	1.57	0.88
SL48	いろいろと考えてしないといけない勉強や仕事の課題が嫌いだ。	0-3	1.42	0.94
SL49	日々の活動中にへまをする。	0-3	1.07	0.80
SL50	落ち着きがない，またはエネルギーがありすぎる。	0-3	0.64	0.79
SL51	生活の秩序を整えたり細かいことを処理したりするのに他の人を頼る。	0-3	0.91	0.83

SL52 悪気はないが、他の人を困らせる。	0-3	0.76	0.69
SL53 細かいことに集中し過ぎるときもある一方で、周りにある全てのことに気が散ってしまうときもある。	0-3	1.21	0.93
SL54 もじもじしたり、そわそわする傾向がある。	0-3	0.62	0.75
SL55 ほんとうに興味のあることでないと、集中して続けられない。	0-3	1.68	0.95
SL56 自分の能力にもっと自信を持てればいいのかと思う。	0-3	1.82	1.00
SL57 長時間じっと座ってられない。	0-3	0.63	0.83
SL58 質問が終わる前に出し抜けて答えてしまう。	0-3	0.65	0.80
SL59 1つの場所にいるよりは、あちこち動き回っているのが好きだ。	0-3	1.18	0.96
SL60 仕事や学業の課題をやり遂げることができない。	0-3	0.57	0.77
SL61 いらいらしやすい。	0-3	1.15	0.93
SL62 仕事や忙しそうにしている人の邪魔をする。	0-3	0.28	0.51
SL63 過去の失敗のせいで、自分に自信が持てない。	0-3	1.17	0.95
SL64 外からの刺激によって容易に注意をそらされる。	0-3	1.15	0.86
SL65 課題や活動を順序立てることが困難である。	0-3	0.87	0.87
SL66 何かをしたり、どこかに行ったりするのにかかる時間を読み違える。	0-3	0.78	0.80

N=218

Table 2 CAARS 観察者評定 66 項目の基礎統計量

項目	Range	Mean	SD
OL01 活動的なことをするのが好きだ。	0-3	1.69	0.84
OL02 (たとえば、やることのリスト、鉛筆、本、道具など) 課題や活動に必要なものをなくす。	0-3	0.70	0.78
OL03 前もって計画を立てない。	0-3	0.95	0.86
OL04 うっかり口をすべらせてしまう。	0-3	0.62	0.75
OL05 (ギャンブルや多額の投資など) 進んで危険をおかす、または向こう見ずだ。	0-3	0.28	0.63
OL06 自分を非難する。	0-3	0.81	0.76
OL07 ものごとを最後までやり終えない。	0-3	0.75	0.74
OL08 いらいらしやすい。	0-3	0.95	0.78
OL09 しゃべりすぎる。	0-3	0.82	0.84
OL10 まるで“エンジンで動かされるように”行動する。	0-3	0.53	0.75
OL11 (整理整頓ができない、忘れ物が多い、約束を忘れるなど) だらしない。	0-3	1.17	0.98
OL12 考えずにものを言う。	0-3	0.74	0.72

OL13	1つの場所に長時間いることが難しい。	0-3	0.47	0.75
OL14	余暇活動で（遊びに行ったりした際に）ついほめをはずして騒いだり乱暴になったりする。	0-3	0.38	0.61
OL15	自分に自信がない。	0-3	0.90	0.71
OL16	いくつものことを同時に進行できない。	0-3	0.91	0.82
OL17	じっとしていようとしても、常に動いている。	0-3	0.43	0.71
OL18	ものごとを覚えておくことを忘れてしまう。	0-3	0.62	0.71
OL19	気が短いすぐにカッとなる。	0-3	0.67	0.75
OL20	飽きっぽい。	0-3	0.93	0.81
OL21	席を離れてはいけないうきに離れる。	0-2	0.17	0.43
OL22	列に並んで待ったり、他の人と交代で何かをしったりするのが苦手だ。	0-3	0.34	0.60
OL23	かんしゃくを起こす。	0-3	0.45	0.67
OL24	仕事でも遊びでも何かに集中しているのが苦手だ。	0-3	0.36	0.60
OL25	ペースの速い、刺激的な活動を求める。	0-3	0.65	0.79
OL26	自分の能力に自信がないので、新しいことに挑戦するのを避ける。	0-3	0.72	0.68
OL27	じっと座っているときでも内心は落ち着かないようだ。	0-3	0.41	0.64
OL28	集中しようとしているときに、何かが目に入ったり聞こえたりすると気がそれてしまう。	0-3	0.79	0.80
OL29	毎日の活動を忘れてしまう。	0-3	0.29	0.53
OL30	色々なことにとびついてすぐにやってみようとする。	0-3	0.82	0.84
OL31	静かで内省的な活動は嫌いだ。	0-3	0.78	0.79
OL32	仕事や作業に必要な物をなくす。	0-3	0.54	0.76
OL33	人の話を聞くのが苦手だ。	0-3	0.38	0.62
OL34	本来の能力を十分発揮できない。	0-3	0.84	0.63
OL35	人の話をさえぎる。	0-3	0.53	0.68
OL36	計画や仕事を途中で変える。	0-3	0.66	0.70
OL37	いっけん問題なく振る舞うが、内心では自信がないようだ。	0-3	0.87	0.72
OL38	いつもあちこち動き回っている。	0-3	0.52	0.79
OL39	後で後悔するようなことを言う。	0-3	0.74	0.65
OL40	はっきりした期限がないと、物事を最後まで終えられない。	0-3	0.91	0.86
OL41	手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。	0-3	0.28	0.64
OL42	（学業、仕事、またはその他の活動において）不注意な過ちをおかす、または綿密に注意することができない。	0-3	0.51	0.63
OL43	意図せずに、他の人が傷つくようなことを言う。	0-3	0.44	0.63

OL44	作業をなかなか始められない。	0-3	0.75	0.79
OL45	他の人のじゃまをする。	0-3	0.27	0.59
OL46	じっと座っているために相当な努力を要するようだ。	0-2	0.21	0.47
OL47	気分が変わりやすい。	0-3	0.84	0.76
OL48	いろいろと考えてしないといけない勉強や仕事の課題が嫌いだ。	0-3	0.73	0.80
OL49	日々の活動中にへまをする。	0-3	0.66	0.61
OL50	落ち着きがない、またはエネルギーがありすぎる。	0-3	0.46	0.72
OL51	生活の秩序を整えたり細かいことを処理したりするのに他の人を頼る。	0-3	0.64	0.80
OL52	悪気はないが、他の人を困らせる。	0-2	0.41	0.55
OL53	細かいことに集中し過ぎるときもある一方で、周りにある全てのことに気が散ってしまうときもある。	0-3	0.58	0.64
OL54	もじもじしたり、そわそわする傾向がある。	0-3	0.26	0.54
OL55	ほんとうに興味のあることでないと、集中して続けられない。	0-3	0.94	0.88
OL56	自分の能力に自信がないような態度をとる。	0-3	0.78	0.71
OL57	長時間じっと座ってられない。	0-3	0.29	0.58
OL58	質問が終わる前に出し抜けに答えてしまう。	0-3	0.36	0.60
OL59	1つの場所にいるよりは、あちこち動き回っているのが好きだ。	0-3	0.79	0.83
OL60	仕事や学業の課題をやり遂げることができない。	0-2	0.30	0.52
OL61	いらいらしやすい。	0-3	0.77	0.77
OL62	仕事や忙しそうにしている人の邪魔をする。	0-2	0.22	0.48
OL63	過去の失敗のせいで、自分に自信が持てないような態度をとる。	0-3	0.59	0.70
OL64	外からの刺激によって容易に注意をそらされる。	0-3	0.70	0.75
OL65	課題や活動を順序立てることが困難である。	0-3	0.46	0.70
OL66	何かをしたり、どこかに行ったりするのにかかる時間を読み違える。	0-3	0.51	0.69

N=175

(2) 男女ごとの検討

自己評定と観察者評定の全項目の基礎統計量を男女ごとで求め、比較を行った (Table 3, Table 4)。

自己評定では、項目 5, 9, 13, 21, 22, 33, 41, 46, 55, 57, 58, 60 において有意差がみられ、男性の方が女性よりも得点が高かった。項目 11, 15, 34, 40

においては、女性の方が男性よりも得点が有意に高かった。

観察者評定においては、項目 5, 25, 27, 53, 57 において有意差がみられ、男性の方が女性よりも得点が高かった。女性の方が男性よりも得点が高い項目はなかった。

Table 3 CAARS 自己評定 66 項目の性別ごとの基礎統計量と平均値の比較

Item	Male		Female		T
	M	SD	M	SD	
SL01 活動的なことをするのが好きだ。	1.93	0.91	1.82	0.88	0.89
SL02 (たとえば、やることのリスト、鉛筆、本、道具など) 課題や活動に必要なものをなくす。	0.89	0.82	0.96	0.77	-0.59
SL03 前もって計画を立てない。	1.43	0.95	1.30	0.85	1.06
SL04 うっかり口をすべらせてしまう。	1.08	0.86	1.09	0.75	-0.08
SL05 (ギャンブルや多額の投資など) 進んで危険をおかす、または向こう見ずだ。	0.77	1.01	0.24	0.58	4.14 ***
SL06 自分が嫌になる。	1.47	0.89	1.80	0.89	-2.55 *
SL07 ものごとを最後までやり終えない。	1.05	0.87	1.17	0.70	-1.09
SL08 いらいらしやすい。	1.27	0.93	1.43	0.82	-1.30
SL09 しゃべりすぎる。	1.34	1.01	1.31	0.86	0.23
SL10 まるで“エンジンで動かされるように”行動する。	1.03	0.94	0.57	0.64	4.24 ***
SL11 (整理整頓ができない、忘れ物が多い、約束を忘れるなど) だらしない。	1.35	1.08	1.40	0.92	-0.35
SL12 考えずにものを言う。	0.96	0.88	1.19	0.87	-1.88
SL13 1つの場所に長時間いることが難しい。	0.84	0.89	0.51	0.72	2.71 **
SL14 余暇活動で(遊びに行ったりした際に) ついはめをはずして騒いだり乱暴になったりする。	0.81	0.89	0.55	0.72	2.35 *
SL15 自分に自信がない。	1.49	1.05	1.81	0.88	-2.29 *
SL16 いくつものことを同時に進行できない。	1.39	1.00	1.38	0.88	0.13
SL17 じっとしているべきときでも、常に動いている。	0.86	0.90	0.65	0.74	1.86
SL18 ものごとを覚えておくことを忘れてしまう。	1.23	0.75	1.10	0.75	1.17
SL19 気が短いすぐにカッとなる。	0.85	0.86	0.94	0.80	-0.74
SL20 飽きっぽい。	1.42	0.89	1.55	0.89	-1.02
SL21 席を離れてはいけないときに離れる。	0.30	0.64	0.18	0.40	1.44
SL22 列に並んで待ったり、他の人と交代で何かをしたりするのが苦手だ。	0.76	0.93	0.51	0.70	1.97
SL23 今でもかんしゃくを起こす。	0.32	0.68	0.28	0.57	0.53
SL24 仕事中に何かに集中しているのが苦手だ。	0.74	0.78	0.59	0.64	1.55
SL25 ペースの速い、刺激的な活動を求める。	1.49	0.86	0.85	0.79	5.41 ***
SL26 自分の能力に自信がないので、新しいことに挑戦するのを避ける。	1.15	0.96	1.19	0.85	-0.36

SL27	じっと座っているときでも内心は落ち着かない。	0.99	0.90	0.83	0.76	1.33
SL28	集中しようとしているときに、何かが目に入ったり聞こえたりすると気がそれてしまう。	1.32	0.83	1.39	0.83	-0.54
SL29	毎日の活動を忘れてしまう。	0.50	0.71	0.38	0.65	1.31
SL30	色々なことにとびついてすぐにやってみようとする。	1.26	0.88	1.03	0.81	1.87
SL31	静かで内省的な活動は嫌いだ。	0.93	0.94	0.78	0.81	1.26
SL32	仕事や作業に必要な物をなくす。	0.72	0.79	0.74	0.79	-0.18
SL33	人の話を聞くのが苦手だ。	0.66	0.78	0.46	0.60	1.96
SL34	本来の能力を十分発揮できない。	1.14	0.85	1.19	0.65	-0.53
SL35	人の話をささげざる。	0.82	0.83	0.94	0.80	-1.03
SL36	計画や仕事を途中で変える。	1.18	0.83	1.10	0.72	0.66
SL37	いっけん問題なく振る舞うが、内心では自信がない。	1.57	0.92	1.67	0.81	-0.87
SL38	いつもあちこち動き回っている。	1.00	0.86	0.66	0.86	2.76 **
SL39	後で取り消したくなるようなことを言うてしまう。	1.38	0.98	1.47	0.91	-0.70
SL40	はっきりした期限がないと、物事を最後まで終えられない。	1.51	1.09	1.51	0.95	0.00
SL41	手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。	0.84	0.92	0.63	0.72	1.73
SL42	(学業、仕事、またはその他の活動において)不注意な過ちをおかす、または綿密に注意することができない。	1.04	0.85	0.90	0.69	1.36
SL43	意図せずに、他の人が傷つくようなことを言う。	0.91	0.86	0.89	0.68	0.15
SL44	作業をなかなか始められない。	1.45	1.05	1.31	0.95	0.95
SL45	他の人のじゃまをする。	0.65	0.65	0.54	0.68	1.12
SL46	じっと座っているために大変な努力が必要だ。	0.49	0.71	0.29	0.54	2.08 *
SL47	気分が変わりやすい。	1.39	0.90	1.67	0.85	-2.21 *
SL48	いろいろと考えてしないといけない勉強や仕事の課題が嫌いだ。	1.53	0.98	1.37	0.92	1.18
SL49	日々の活動中にへまをする。	0.96	0.78	1.13	0.80	-1.46
SL50	落ち着きがない、またはエネルギーがありすぎる。	0.84	0.86	0.54	0.73	2.67 **
SL51	生活の秩序を整えたり細かいことを処理したりするのに他の人を頼る。	1.03	0.88	0.85	0.80	1.52
SL52	悪気はないが、他の人を困らせる。	0.81	0.77	0.73	0.65	0.82
SL53	細かいことに集中し過ぎるときもある一方で、周りにある全てのことに気が散ってしまうときもある。	1.26	0.97	1.19	0.92	0.52
SL54	もじもじしたり、そわそわする傾向がある。	0.76	0.87	0.55	0.67	1.96

SL55	ほんとうに興味のあることでないと、集中して続けられない。	1.81	0.90	1.61	0.97	1.51
SL56	自分の能力にもっと自信を持てればいいのと思う。	1.89	1.01	1.78	0.99	0.80
SL57	長時間じっと座ってられない。	0.86	1.00	0.51	0.71	2.70 **
SL58	質問が終わる前に出し抜けて答えてしまう。	0.74	0.94	0.60	0.71	1.18
SL59	1つの場所にいるよりは、あちこち動き回っているのが好きだ。	1.36	0.99	1.08	0.93	2.08 *
SL60	仕事や学業の課題をやり遂げることができない。	0.73	0.90	0.49	0.68	2.06 *
SL61	いらいらしやすい。	0.99	0.99	1.23	0.90	-1.83
SL62	仕事や忙しそうにしている人の邪魔をする。	0.35	0.51	0.25	0.51	1.39
SL63	過去の失敗のせいで、自分に自信が持てない。	1.27	1.02	1.13	0.91	1.07
SL64	外からの刺激によって容易に注意をそらされる。	1.05	0.81	1.19	0.88	-1.15
SL65	課題や活動を順序立てることが困難である。	1.00	0.88	0.80	0.87	1.61
SL66	何かをしたり、どこかに行ったりするのにかかる時間を読み違える。	0.86	0.91	0.73	0.74	1.18

N=74 (Male), N=144 (Female)

*** significant at the 0.001 level, two tailed

** significant at the 0.01 level, two tailed

* significant at the 0.05 level, two tailed

Table 4 CAARS 観察者評定 66 項目の基礎統計量の性別ごとの基礎統計量と平均値の比較

Item	Male		Female		T
	M	SD	M	SD	
OL01	1.67	0.89	1.69	0.83	-0.20
OL02	0.78	0.79	0.67	0.77	0.84
OL03	1.00	1.03	0.94	0.78	0.38
OL04	0.72	0.92	0.58	0.66	1.05
OL05	0.46	0.84	0.20	0.50	2.53 ***
OL06	0.81	0.80	0.81	0.74	0.01
OL07	0.78	0.74	0.75	0.74	0.19
OL08	0.87	0.73	0.99	0.80	-0.95
OL09	0.83	0.88	0.83	0.82	0.02
OL10	0.69	0.77	0.47	0.74	1.71

OL11 (整理整頓ができない、忘れ物が多い、約束を忘れるなど) だらしない。	1.04	0.97	1.25	0.98	-1.30
OL12 考えずにものを言う。	0.74	0.71	0.75	0.74	-0.11
OL13 1つの場所に長時間いることが難しい。	0.59	0.81	0.43	0.72	1.30
OL14 余暇活動で(遊びに行ったりした際に) ついはめをはずして騒いだり乱暴になったりする。	0.46	0.66	0.35	0.59	1.14
OL15 自分に自信がない。	0.85	0.74	0.94	0.70	-0.76
OL16 いくつものことを同時に進行できない。	0.87	0.73	0.95	0.86	-0.59
OL17 じっとしていようとしても、常に動いている。	0.54	0.72	0.40	0.71	1.19
OL18 ものごとを覚えておくことを忘れてしまう。	0.56	0.60	0.66	0.75	-0.90
OL19 気が短いすぐにカッとなる。	0.69	0.82	0.68	0.73	0.06
OL20 飽きっぽい。	0.96	0.87	0.93	0.79	0.23
OL21 席を離れてはいけないうきに離れる。	0.20	0.45	0.15	0.43	0.72
OL22 列に並んで待ったり、他の人と交代で何かをしたりするのが苦手だ。	0.48	0.64	0.29	0.59	1.89
OL23 かんしゃくを起こす。	0.41	0.69	0.47	0.66	-0.61
OL24 仕事でも遊びでも何かに集中しているのが苦手だ。	0.43	0.69	0.34	0.56	0.88
OL25 ペースの速い、刺激的な活動を求める。	0.94	0.86	0.53	0.72	3.32 **
OL26 自分の能力に自信がないので、新しいことに挑戦するのを避ける。	0.76	0.78	0.71	0.63	0.43
OL27 じっと座っているときでも内心は落ち着かないようだ。	0.57	0.69	0.35	0.60	2.18 ***
OL28 集中しようとしているときに、何かが目に入ったり聞こえたりすると気がそれてしまう。	0.76	0.73	0.82	0.83	-0.48
OL29 毎日の活動を忘れてしまう。	0.31	0.54	0.28	0.54	0.40
OL30 色々なことにとびついてすぐにやってみようとする。	0.96	0.89	0.77	0.81	1.40
OL31 静かで内省的な活動は嫌いだ。	0.93	0.75	0.72	0.80	1.59
OL32 仕事や作業に必要な物をなくす。	0.59	0.77	0.53	0.76	0.47
OL33 人の話を聞くのが苦手だ。	0.52	0.64	0.33	0.61	1.84
OL34 本来の能力を十分発揮できない。	0.89	0.69	0.82	0.61	0.64
OL35 人の話をさげぎる。	0.48	0.67	0.56	0.69	-0.70
OL36 計画や仕事を途中で変える。	0.72	0.68	0.64	0.71	0.68
OL37 いっけん問題なく振る舞うが、内心では自信がないようだ。	0.91	0.73	0.86	0.72	0.36
OL38 いつもあちこち動き回っている。	0.70	0.88	0.45	0.75	1.96
OL39 後で後悔するようなことを言うてしまう。	0.74	0.59	0.75	0.68	-0.05

OL40	はっきりした期限がないと、物事を最後まで終わられない。	1.00	0.91	0.88	0.84	0.84
OL41	手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。	0.35	0.65	0.25	0.64	1.00
OL42	(学業、仕事、またはその他の活動において)不注意な過ちをおかす、または綿密に注意することができない。	0.61	0.68	0.47	0.61	1.31
OL43	意図せずに、他の人が傷つくようなことを言う。	0.50	0.67	0.42	0.62	0.81
OL44	作業をなかなか始められない。	0.85	0.92	0.71	0.73	1.07
OL45	他の人のじゃまをする。	0.35	0.55	0.24	0.61	1.18
OL46	じっと座っているために相当な努力を要するようだ。	0.31	0.58	0.16	0.41	1.76
OL47	気分が変わりやすい。	0.89	0.74	0.83	0.78	0.46
OL48	いろいろと考えてしないといけない勉強や仕事の課題が嫌いだ。	0.81	0.78	0.70	0.82	0.84
OL49	日々の活動中にへまをする。	0.67	0.58	0.66	0.63	0.06
OL50	落ち着きがない、またはエネルギーがありすぎる。	0.61	0.86	0.40	0.64	1.63
OL51	生活の秩序を整えたり細かいことを処理したりするのに他の人を頼る。	0.81	0.80	0.57	0.79	1.89
OL52	悪気はないが、他の人を困らせる。	0.48	0.54	0.38	0.55	1.11
OL53	細かいことに集中し過ぎるときもある一方で、周りにある全てのことに気が散ってしまうときもある。	0.74	0.62	0.53	0.64	2.08 **
OL54	もじもじしたり、そわそわする傾向がある。	0.33	0.55	0.23	0.55	1.16
OL55	ほんとうに興味のあることでないと、集中して続けられない。	1.09	0.85	0.89	0.88	1.41
OL56	自分の能力に自信がないような態度をとる。	0.81	0.70	0.77	0.72	0.37
OL57	長時間じっと座ってられない。	0.48	0.67	0.20	0.52	2.72 **
OL58	質問が終わる前に出し抜けて答えてしまう。	0.44	0.66	0.33	0.57	1.15
OL59	1つの場所にいるよりは、あちこち動き回っているのが好きだ。	0.96	0.93	0.72	0.78	1.77
OL60	仕事や学業の課題をやり遂げることができない。	0.39	0.63	0.26	0.46	1.32
OL61	いらいらしやすい。	0.74	0.78	0.80	0.77	-0.44
OL62	仕事中や忙しそうにしている人の邪魔をする。	0.28	0.53	0.19	0.46	1.05
OL63	過去の失敗のせいで、自分に自信が持てないような態度をとる。	0.67	0.73	0.57	0.69	0.86
OL64	外からの刺激によって容易に注意をそらされる。	0.72	0.76	0.69	0.76	0.22
OL65	課題や活動を順序立てることが困難である。	0.61	0.88	0.40	0.60	1.62

OL66 何かをしたり, どこかに行ったりするのにかかる時間を 読み違える。	0.57	0.74	0.50	0.68	0.65
---	------	------	------	------	------

N=54 (Male), N=118 (Female)

***significant at the 0.001 level, two tailed

**significant at the 0.01 level, two tailed

*significant at the 0.05 level, two tailed

2. 下位尺度の構造についての検討

(1) 因子分析にもとづく下位尺度の検討

1) 因子分析と I-T 相関

自己評定と観察者評定それぞれについて, 全 66 項目のうち, 因子分析にもとづく 4 対の下位尺度を構成する項目の確認的因子分析を行った。また, 尺度の内的整合性を意味する Item-Total Correlation (I-T 相関) を求めた (Table 5)。その結果, ほとんどの項目において I-T 相関が.30 以上の値を示しており, 内的整合性が高いことを示してい

る。

ただし, 多動性の No.1「likes to be doing active things」(活動的なことをするのが好きだ) の自己評定と観察者評定において, 確認的因子分析の因子負荷量の値と I-T 相関の値がともに低かった。

衝動性の No.30「is set of easily by many things」(色々なことにとびついてすぐにやってみようとする) の自己評定においても, 確認的因子分析の因子負荷量と I-T 相関の値が低かった。

Table 5 CAARS 自己評定と観察者評定の 4 因子各項目の因子負荷量と I-T 相関

Item		Factor Loading		Item-Total Correlation	
		self	observer	self	observer
Inattention / Memory problems (不注意/記憶における問題)					
3	前もって計画を立てない。	.43	.73	.42	.70
7	ものごとを最後までやり終えない。	.61	.66	.54	.62
11	(整理整頓ができない, 忘れ物が多い, 約束を忘れるなど) だらしない。	.48	.73	.47	.69
16	いくつものことを同時に進行できない。	.51	.56	.46	.51
18	ものごとを覚えておくことを忘れてしまう。	.56	.65	.51	.59
32	仕事や作業に必要な物をなくす。	.58	.70	.52	.65
36	計画や仕事を途中で変える。	.60	.64	.53	.58
40	はっきりした期限がないと, 物事を最後まで終えられない。	.48	.68	.43	.64
44	作業をなかなか始められない。	.59	.69	.54	.68
49	日々の活動中にへまをする。	.63	.61	.56	.58

51	生活の秩序を整えたり細かいことを処理したりするのに他の人を頼る。	.54	.50	.48	.47
66	何かをしたり、どこかに行ったりするのにかかる時間を読み違える。	.58	.52	.52	.51
Hyperactivity/ Restlessness (多動性/落ち着きのなさ)					
1	活動的なことをするのが好きだ。	.12	.14	.26	.20
5	(ギャンブルや多額の投資など) 進んで危険をおかす、または向こう見ずだ。	.30	.60	.32	.55
13	1つの場所に長時間いることが難しい。	.56	.69	.50	.55
17	じっとしているべきときでも、常に動いている。	.65	.64	.53	.61
20	飽きっぽい。	.44	.67	.34	.56
25	ペースの速い、刺激的な活動を求める。	.25	.41	.37	.48
27	じっと座っているときでも内心は落ち着かない。	.70	.66	.56	.56
31	静かで内省的な活動は嫌いだ。	.29	.45	.38	.47
46	じっと座っているために大変な努力が必要だ。	.75	.69	.59	.62
54	もじもじしたり、そわそわする傾向がある。	.68	.51	.48	.38
57	長時間じっと座ってられない。	.80	.73	.66	.64
59	1つの場所にいるよりは、あちこち動き回っているのが好きだ。	.55	.59	.62	.61
Impulsivity / Emotional lability(衝動性/情動の易動性)					
4	うっかり口をすべらせてしまう。	.33	.49	.42	.49
8	いらいらしやすい。	.86	.82	.57	.74
12	考えずにものを言う。	.25	.76	.42	.75
19	気が短いすぐにカッとなる。	.76	.70	.51	.64
23	今でもかんしゃくを起こす。	.52	.68	.46	.61
30	色々なことにとびついてすぐにやってみようとする。	-.01	.34	.07	.33
35	人の話をさえぎる。	.26	.51	.41	.53
39	後で取り消したくなるようなことを言う。	.36	.68	.52	.64
43	意図せずに、他の人が傷つくようなことを言う。	.35	.65	.56	.63
47	気分が変わりやすい。	.52	.65	.52	.61
52	悪気はないが、他の人を困らせる。	.24	.62	.37	.60
61	いらいらしやすい。	.91	.83	.59	.76
Problems with self-concept (自己概念における問題)					
6	自分が嫌になる。	.69	.61	.57	.57
15	自分に自信がない。	.82	.74	.72	.70

26	自分の能力に自信がないので、新しいことに挑戦するのを避ける。	.61	.68	.54	.61
37	いっけん問題なく振る舞うが、内心では自信がない。	.62	.69	.56	.63
56	自分の能力にもっと自信を持てればいいのと思う。	.49	.81	.46	.74
63	過去の失敗のせいで、自分に自信が持てない。	.65	.74	.58	.68

N=218 (自己評定), N=172 (観察者評定)

2) 代替項目の検討

この2項目については、代替項目を作成し、その結果について検討した (Table 6)。

No.1 「likes to be doing active things」については、「(家にいるより) 外に出て活発に行動する方が好きだ」という表現にした。自己評定においては、I-T 相関の値が.26 から.44 になり、改善がみられた。しかし、観察者評定においては、.20 から-.10 となり、逆に値が低くなった。また、自己評定の確認的因子分析における因子負荷量の値は低く、改善はみられなかった。

No.30 「is set of easily by many things」については、「色々なことをすぐに試してみようとする」という表現にした。自己評定においては、I-T 相関の値が.07 から.14 になり、若干の改善がみられた。しかし、観察者評定においては、.33 から.14 となり、逆に値が低くなった。また、自己評定の確認的因子分析における因子負荷量の値は低く、改善はみられなかった。

従って、以下では全て原項目を用いて分析を行った。

Table 6 自己評定と観察者評定において I-T 相関が低かった項目の代替項目の基礎統計量

Item	N	Self			Observer		
		M	SD	I-T	M	SD	I-T
多動性 (1) likes to be doing active things.							
活動的なことをするのが好きだ。		1.86	0.89	.26	1.69	0.84	.20
代替 (家にいるより)外に出て活発に行動する方が好きだ。	91	1.14	0.81	.44	0.51	0.78	-.10
衝動性 (30) is set of easily by many things.							
色々なことにとびついてすぐにやってみようとする。		1.11	0.84	.07	0.82	0.84	.33
代替 色々なことをすぐに試してみようとする	91	1.03	0.75	.14	0.34	0.60	.17

(2) DSM-IV にもとづく下位尺度の検討

DSM-IV にもとづく 2 つの下位尺度について、下位尺度内の I-T 相関と、2 つの下位尺度全体の I-T 相関を検討した (Table 7)。I-T 相関の値はほ

とんどの項目において.30 以上の値を示しており、内的整合性が高いことが示唆された。

Table 7 DSM-IV にもとづく下位尺度の I-T 相関

Item		Self		Observer	
		Sub-scale	Total	Sub-scale	Total
DSM-IV Inattentive symptoms (DSM-IV 不注意)					
2	(たとえば、やることのリスト、鉛筆、本、道具など) 課題や活動に必要なものをなくす。	.38	.41	.55	.58
24	仕事中に何かに集中しているのが苦手だ。	.52	.50	.62	.61
29	毎日の活動を忘れてしまう。	.43	.43	.60	.62
33	人の話を聞くのが苦手だ。	.40	.43	.43	.52
42	(学業、仕事、またはその他の活動において) 不注意な過ちをおかす、または綿密に注意することができない。	.55	.56	.67	.64
48	いろいろと考えてしないといけない勉強や仕事の課題が嫌いだ。	.56	.49	.69	.62
60	仕事や学業の課題をやり遂げることができない。	.53	.48	.64	.55
64	外からの刺激によって容易に注意をそらされる。	.43	.44	.63	.62
65	課題や活動を順序立てることが困難である。	.67	.62	.62	.54
DSM-IV Hyperactivity-Impulsiveness symptom (DSM-IV 多動性・衝動性)					
9	しゃべりすぎる。	.38	.28	.56	.52
14	余暇活動で(遊びに行ったりした際に) ついはめをはずして騒いだり乱暴になったりする。	.36	.33	.48	.39
21	席を離れてはいけないうきに離れる。	.50	.55	.48	.57
22	列に並んで待ったり、他の人と交代で何かをしたりするのが苦手だ。	.23	.33	.37	.47
38	いつもあちこち動き回っている。	.53	.48	.51	.50
41	手足をそわそわと動かし、またはいすの上でもじもじする。	.35	.48	.44	.42
50	落ち着きがない、またはエネルギーがありすぎる。	.59	.52	.60	.55
58	質問が終わる前に出し抜けて答えてしまう。	.32	.34	.49	.54
62	仕事や忙しそうにしている人の邪魔をする。	.39	.40	.45	.45

(3) ADHD Index 各項目の検討
ADHD Index の I-T 相関を検討した (Table 8)。
その結果、自己評定と観察者評定ともに、ほとん

どの項目において.30 以上の値を示しており、内的整合性が高いことが示唆された。

Table 8 ADHD-Index の I-T 相関

Item		self	observer
10	まるで“エンジンで動かされるように”行動する。	.28	.37
19	気が短いすぐにカッとなる。	.27	.49
23	今でもかんしゃくを起こす。	.34	.54
26	自分の能力に自信がないので、新しいことに挑戦するのを避ける。	.42	.48
27	じっと座っているときでも内心は落ち着かない。	.50	.55
28	集中しようとしているときに、何かが目に入ったり聞こえたりすると気がそ れてしまう。	.55	.69
34	本来の能力を十分発揮できない。	.39	.51
40	はっきりした期限がないと、物事を最後まで終えられない。	.45	.58
45	他の人のじゃまをする。	.31	.48
53	細かいことに集中し過ぎるときもある一方で、周りにある全てのことに気が 散ってしまうときもある。	.49	.63
55	ほんとうに興味のあることでないと、集中して続けられない。	.48	.70
63	過去の失敗のせいで、自分に自信が持てない。	.40	.56

3. 自己評定と観察者評定の各下位尺度の基礎統計量と平均値の比較

1)男女込みでの分析

男女込みで、自己評定と観察者評定の各下位尺度の基礎統計量を算出し、自己評定と観察者評定の平均値の比較を行った (Table 9)。また、下位

尺度の α 係数についても検討した。

いずれの下位尺度においても、 α 係数は.70 以上の値を示し、満足できる結果であった。得点については、自己評定の方が観察者評定よりも有意に高い値を示していた。特に、「自己概念」においてその差が大きかった。

Table 9 自己評定と観察者評定の各下位尺度の基礎統計量と評定者間の平均値の比較

Item	Self			Observer			t
	M	SD	α	M	SD	α	
Inattention / Memory problems (12 item)	13.87	6.13	.83	8.96	6.38	.89	7.80 ***
Hyperactivity / Restlessness (12 item)	10.71	5.65	.81	7.08	5.14	.84	6.62 ***
Impulsivity / Emotional lability(12 item)	12.61	5.53	.80	7.85	5.85	.89	8.31 ***
Problems with self-concept (6 item)	9.20	3.97	.81	4.62	3.32	.86	12.51 ***
DSM-IV Inattentive symptoms (9 item)	7.47	4.40	.80	4.36	4.17	.87	7.17 ***
DSM-IV Hyperactive-Impulsiveness symptoms (9 item)	5.82	3.81	.72	3.48	3.55	.79	6.26 ***

DSM-IV ADHD symptoms Total (18 item)	13.28	7.31	.85	7.84	7.06	.89	7.49 ***
ADHD Index (12 item)	12.69	5.36	.77	7.62	5.52	.87	9.25 ***

N=218 (Self), N=178-179 (Observer)

*** significant at the 0.001 level, two tailed

2)男女別々での検討

男女別々で、自己評定と観察者評定の各下位尺度の基礎統計量を算出し、自己評定と観察者評定の平均値の比較を行った (Table 10, Table 11)。また、下位尺度の α 係数についても検討した。

男女ともにいずれの下位尺度においても、自己

評定の方が観察者評定よりも有意に高い値を示していた。いずれの下位尺度においても、 α 係数は、男性の「DSM-IV 多動性/衝動性」において.69と若干低い値であったが、その他の下位尺度においてはいずれも.70以上の値を示し、満足できる結果であった。

Table 10 男性における各下位尺度の基礎統計量と評定者間の平均値の比較

Item	Self			Observer			t
	M	SD	α	M	SD	α	
Inattention / Memory problems (12 item)	14.16	6.84	.85	9.33	6.51	.89	4.05 ***
Hyperactivity / Restlessness (12 item)	12.70	6.51	.84	8.64	5.77	.86	3.68 ***
Impulsivity / Emotional lability(12 item)	12.04	6.32	.84	8.07	5.81	.88	3.65 ***
Problems with self-concept (6 item)	8.84	4.44	.85	4.73	3.55	.88	5.65 ***
DSM-IV Inattentive symptoms (9 item)	8.15	4.89	.83	5.11	4.62	.88	3.57 ***
DSM-IV Hyperactive-Impulsiveness symptoms (9 item)	6.97	4.11	.69	4.29	3.79	.78	3.79 ***
DSM-IV ADHD symptoms Total (18 item)	15.12	7.78	.83	9.40	7.41	.88	4.20 ***
ADHD Index (12 item)	13.30	5.78	.78	8.47	5.44	.85	4.81 ***

*** significant at the 0.001 level, two tailed

Table 11 女性における各下位尺度の基礎統計量と評定者間の平均値の比較

Item	Self			Observer			t
	M	SD	α	M	SD	α	
Inattention / Memory problems (12 item)	13.72	5.75	.82	8.80	6.34	.90	6.66 ***
Hyperactivity / Restlessness (12 item)	9.68	4.86	.77	6.38	4.69	.83	5.62 ***
Impulsivity / Emotional lability(12 item)	12.90	5.07	.77	7.75	5.88	.90	7.69 ***
Problems with self-concept (6 item)	9.38	3.71	.79	4.57	3.23	.86	11.35 ***
DSM-IV Inattentive symptoms (9 item)	7.13	4.10	.78	4.02	3.93	.85	6.29 ***

DSM-IV Hyperactive-Impulsiveness symptoms (9 item)	5.22	3.52	.72	3.12	3.40	.79	4.95 ***
DSM-IV ADHD symptoms Total (18 item)	12.35	6.89	.85	7.15	6.82	.90	6.19 ***
ADHD Index (12 item)	12.38	5.12	.77	7.24	5.53	.88	7.88 ***

*** significant at the 0.001 level, two tailed

3) 男性と女性の得点の比較

自己評定と観察者評定それぞれの各下位尺度において、男女間で平均値の比較を行った (Table 12)。その結果、自己評定と観察者評定のいずれの下位尺度においても、男性の方が女性よりも得点が高

い傾向が見られたが、有意差のあったのは自己評定と観察者評定ともに「多動性/常動性」、「DSM-IV 多動性/衝動性」、「DSM-IV 全体」のみであった。

Table 12 自己評定と観察者評定における男女間の比較

Item	Self		Observer	
	<i>t</i>		<i>t</i>	
Inattention / Memory problems (12 item)	0.50		0.51	
Hyperactivity / Restlessness (12 item)	3.52	**	6.38	**
Impulsivity / Emotional lability(12 item)	-1.01		7.75	
Problems with self-concept (6 item)	-0.96		4.57	
DSM-IV Inattentive symptoms (9 item)	1.63		4.02	
DSM-IV Hyperactive-Impulsiveness symptoms (9 item)	3.28	**	3.12	*
DSM-IV ADHD symptoms Total (18 item)	2.68	**	7.15	*
ADHD Index (12 item)	1.21		7.24	

N= 73-74 (Male, Self), N= 55 (Male, Observer), N=144 (Female, self), N= 140(Female, observer),

** significant at the 0.01 level, two tailed

* significant at the 0.05 level, two tailed

4. 自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関

1) 男女込みでの検討

男女込みで、自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関を算出した (Table 13)。

自己評定と観察者評定それぞれの内部相関に

ついてみると、全般的に中程度から高い正の相関を示していた。しかし、自己評定の自己概念と多動性および DSM-IV 多動性・衝動性はほぼ無相関であった。観察者評定では、極端に低い値を示すものはなかった。

対角線に示した自己評定と観察者評定の相関に着目すると、.27~.49の値を示していた。同じ

項目についての一致率という観点では、必ずしも高い値とは考えられない。自己概念における評定者間相関が最も低く、.27であった。

Table 13 自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関¹

	Self								Observer							
	不注意	多動性	衝動性	自己概念	DSM 不注意	DSM 多動	DSM 合計	ADHD Index	不注意	多動性	衝動性	自己概念	DSM 不注意	DSM 多動	DSM 合計	ADHD Index
Self																
不注意	-															
多動性	.47	-														
衝動性	.52	.53	-													
自己概念	.49	.08	.32	-												
DSM-IV不注意	.86	.56	.54	.50	-											
DSM-IV多動性・衝動性	.51	.79	.65	.08	.58	-										
DSM-IV合計	.79	.75	.66	.34	.90	.87	-									
ADHD Index	.73	.52	.66	.65	.77	.52	.73	-								
Observer																
不注意	.49	.29	.30	.08	.38	.33	.41	.33	-							
多動性	.27	.37	.21	-.09	.26	.36	.34	.16	.66	-						
衝動性	.34	.19	.40	.06	.25	.29	.30	.23	.74	.63	-					
自己概念	.38	.21	.31	.27	.32	.17	.29	.35	.57	.40	.62	-				
DSM-IV不注意	.51	.37	.35	.13	.46	.41	.49	.35	.86	.67	.73	.60	-			
DSM-IV多動性・衝動性	.27	.32	.30	-.06	.26	.46	.39	.17	.62	.77	.69	.34	.67	-		
DSM-IV合計	.44	.38	.36	.05	.40	.47	.48	.29	.82	.78	.78	.53	.93	.90	-	
ADHD Index	.41	.30	.41	.16	.38	.33	.40	.37	.80	.71	.82	.73	.81	.65	.81	-

¹ diagonal (boldface) is the correlation between self and observer rating of CAARS

1)男女ごとの検討

男女ごとで、自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関を算出した (Table 14, Table 15)。

男女ともに、自己評定と観察者評定それぞれの内部相関についてみると、全般的に中程度から高い正の相関を示していた。しかし、男性では自己評定の自己概念と多動性および DSM-IV 多動性・衝動性はほぼ無相関、女性においては低い正

の相関であった。観察者評定では極端に低い値を示すものはなかった。

対角線に示した自己評定と観察者評定の相関に着目すると、男性では.21~.61、女性では.16~.46の値を示していた。男性では多動性における評定者間相関が最も低く.21であり、女性では自己概念において最も低く.16であった。これらについては、同じ下位尺度についての一致率という観点では、低い値である。

Table 14 男性における自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関¹

	Self								Observer							
	不注意	多動性	衝動性	自己概念	DSM 不注意	DSM 多動	DSM 合計	ADHD Index	不注意	多動性	衝動性	自己概念	DSM 不注意	DSM 多動	DSM 合計	ADHD Index
Self																
不注意	-															
多動性	.44	-														
衝動性	.54	.54	-													
自己概念	.52	.01	.29	-												
DSM-IV不注意	.87	.51	.54	.48	-											
DSM-IV多動性・衝動性	.41	.79	.71	-.01	.48	-										
DSM-IV合計	.77	.74	.71	.29	.88	.83	-									
ADHD Index	.74	.44	.67	.65	.73	.43	.69	-								
Observer																
不注意	.55	.18	.28	.27	.44	.23	.41	.41	-							
多動性	.25	.21	.15	-.07	.23	.29	.30	.11	.63	-						
衝動性	.39	.03	.57	.19	.28	.28	.32	.31	.61	.53	-					
自己概念	.43	.06	.38	.48	.37	.09	.29	.40	.55	.29	.54	-				
DSM-IV不注意	.55	.22	.35	.28	.49	.32	.48	.38	.87	.59	.67	.56	-			
DSM-IV多動性・衝動性	.32	.32	.37	.07	.30	.61	.50	.22	.51	.66	.55	.22	.55	-		
DSM-IV合計	.51	.30	.41	.21	.46	.51	.56	.35	.80	.71	.70	.47	.90	.85	-	
ADHD Index	.48	.12	.42	.28	.42	.26	.41	.37	.83	.64	.76	.72	.81	.54	.78	-

¹ diagonal (boldface) is the correlation between self and observer rating of CAARS

Table 15 女性における自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関¹

	Self								Observer							
	不注意	多動性	衝動性	自己概念	DSM 不注意	DSM 多動	DSM 合計	ADHD Index	不注意	多動性	衝動性	自己概念	DSM 不注意	DSM 多動	DSM 合計	ADHD Index
Self																
不注意	-															
多動性	.51	-														
衝動性	.51	.60	-													
自己概念	.47	.17	.34	-												
DSM-IV不注意	.86	.60	.56	.52	-											
DSM-IV多動性・衝動性	.59	.77	.66	.18	.63	-										
DSM-IV合計	.81	.75	.67	.40	.92	.89	-									
ADHD Index	.72	.58	.68	.66	.79	.58	.76	-								
Observer																
不注意	.46	.35	.32	-.02	.35	.39	.40	.29	-							
多動性	.27	.41	.28	-.09	.25	.35	.32	.17	.69	-						
衝動性	.32	.29	.31	.00	.23	.29	.28	.19	.80	.71	-					
自己概念	.36	.31	.27	.16	.30	.21	.28	.32	.58	.46	.65	-				
DSM-IV不注意	.49	.44	.36	.06	.43	.44	.48	.32	.86	.71	.78	.62	-			
DSM-IV多動性・衝動性	.24	.28	.29	-.12	.22	.35	.30	.11	.68	.82	.77	.41	.73	-		
DSM-IV合計	.40	.40	.35	-.02	.36	.43	.43	.24	.83	.82	.83	.56	.94	.92	-	
ADHD Index	.38	.38	.42	.11	.35	.34	.39	.37	.78	.75	.85	.74	.81	.70	.82	-

¹ diagonal (boldface) is the correlation between self and observer rating of CAARS

D. 考察

本研究では、一般大学生を対象に CAARS 日本語版の予備調査を行った。

1. 項目得点について

尺度項目の得点は低く、観察者評定において床効果のみられるものが多かった。本研究の対象者が一般大学生であるため、全体に得点が低くなったものと考えられる。

2. 下位尺度の構造について

因子分析にもとづく4つの下位尺度については、確認的因子分析を行ったところ、若干適合度指標の値が低かった。また、 α 係数は満足できる値であったものの、一部の項目において因子負荷量と I-T 相関の値が低く、下位尺度を構成する項目としての内的整合性に問題が見られた。これらの項目については、日本語表現を変えた代替項目を作成したものの、因子負荷量と I-T 相関の値の改善は見られなかった。よって、これらの項目については、より適切な日本語の表現に改める必要があると考えられる。

DSM-IV の不注意、多動性/衝動性の2下位尺度

および ADHD-Index については、I-T 相関、 α 係数ともに満足できる値であり、内的整合性という面では信頼性が確保されていると言える。

3. 下位尺度における自己評定と観察者評定の比較について

下位尺度それぞれについて、自己評定と観察者評定で得点の比較を行ったところ、男女込みおよび男女別々いずれにおいても、自己評定の方が観察者評定よりも有意に得点が高かった。特に他者から観察されにくい自己概念においてその傾向が顕著であった。アメリカのデータにおいては、自己評定と観察者評定に大きなずれがみられないことから (Conners et al., 1999)、この結果が本研究における調査協力者の特徴であるのか、あるいは日本人共通する文化的な特徴であるかは、今後日本全国での大規模なデータ集を行って検討する必要がある。

男女差の検討を行ったところ、自己評定と観察者評定ともに多動性、DSM-IV 多動性/衝動性および DSM-IV 全体において有意差がみられ、いずれも男性の方が女性よりも得点が高かった。アメリ

カでの先行研究 (Conners et al., 1999) では、多動性において男性の方が有意に高い値であり、本研究はこれに一致する結果であった。しかし、DSM-IV 多動性/衝動性および DSM-IV 全体においては、男女差が見られなかったことから、本研究の結果は異なっている。これについても、今後日本全国での大規模なデータ集を行って検討する必要がある。

4. 自己評定と観察者評定の下位尺度間相関および自己評定と観察者評定の相関について

男女込みでも、男女ごとにおいても、自己評定および観察者評定の下位尺度間相関は全般的に中程度から高い正の相関を示し、相互に関連し合っていることが示唆された。自己評定と観察者評定間での相関では、自己概念などの他者からは観察しづらい内容を除いては中程度の正の相関がみられ、全般的には一致する傾向が見られた。しかし、相関係数の値は必ずしも高い値とは言えず、一致度という面では十分ではなかった。このことは、自己評定と観察者評定がそれぞれお重なりながらも異なる側面についての情報を提供する可能性を示唆しており、対象とその保護者や配偶者といった複数の評定者による多視点での評定を行うことも必要であるといえる。

今後の検討課題としては、CAARS の日本語版の項目表現をより適切なものに修正し、先行研究と同じ規模での標準化作業を行うことが挙げられる。また、CAARS が成人期 ADHD 患者の症状を量的に把握する尺度としての有用性を検討するためには、成人期 ADHD 患者や、その他の精神疾患を持つ臨床群への調査も行う必要がある。

E. 結論

CAARS 日本語版を作成して予備的な検討を行った結果、本研究で作成した CAARS 日本語版の項目表現の一部は修正する必要がある。修正した尺度を用いて大規模サンプルにもとづく標準化と、

成人期 ADHD 患者やその他の臨床群での検討を行う必要がある。

引用文献

Conners, C. K., Erhardt, D., & Sparrow, D., (1999). CAARS Adult ADHD Rating Scales. New York: Multi-Health Systems.

F. 健康危険情報

該当なし

G. 研究発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし